

⑥ 「小さな拠点」を活用し 地域コミュニティ力の向上を

これまで地域コミュニティの核として集落活動センターとあつたかふれあいセンターを町内各地へ整備し、地域の主体性に先導されながら運営を行っている。今年度も、4カ所の集落活動センター運営経費を計上。

また、あつたかふれあいセンター事業関連費用を計上しており、町内5カ所目のあつたかふれあいセンターを出口地区で開設する予定。

■あつたかふれあいセンター事業委託料

4200万円

新たに開設する「みうら」を含めた5カ所分。

■地域共生社会包括的支援体制委託料

2620万円

あつたかふれあいセンターと社会福祉協議会の職員の人件費、及び運営費。

■集落活動センター運営経費

1799万円

4カ所の集落活動センター運営経費。



町内5カ所目となる「あつたかふれあいセンターみうら」を開設予定の出口集会所

⑦ ソフト面を中心とした 防災対策の充実

地震津波防災関連のハード整備がほぼ終了し、今後の防災対策はソフト面を中心とし、その充実を図っていく。ソフト事業は住民の皆さまと共同した取り組みが重要であり、地域ごとに特色を持ちながら個別に進めていく必要がある。引き続き、地区防災計画作成共同研究を委託し、地域活動を強化していく。

また、台風被害を多く受け、急傾斜地が多い本町においてには土砂災害対策も喫緊の課題。引き続き、平成31年度には町内4エリアで取り組む予定としている。

■地区防災計画作成共同研究委託

423万円

京都大学にご協力を頂きながら地域活動を強化していくもの。

■土砂災害対策支援業務委託

721万円

引き続き、平成31年度は町内4つのエリアで取り組んでいく。



かきせ地域の土砂災害ワークショップにて地域内の「危険」の洗い出し作業中です

⑧ 地域と共に生きる力を はぐくむ教育の充実

次世代を担う子どもたちが、豊かな人間性と高い能力を身に着けるためには学校教育の充実が欠かせない。

このため、基礎学力の向上を図るため、学校支援員配置事業を引き続き予算計上。

また、ふるさとを愛し、地域に貢献意識を持てる子どもたちの育成を目指した「ふるさと・キャリア教育」関連予算を計上している。

■学校支援員賃金

1929万円

小学校は8名分154万円、中学校は1名分386万円を計上。

■ふるさと・キャリア教育関連費用

450万円

地域の自然、農林水産物、人材、文化、芸能を活用して、地域とつながり触れ合う体験事業や伝承文化の継承事業、地域の



ふるさと・キャリア教育の一例。上は、大方中のフラワーアート、下は田の口小のサーフィン

未来を考える事業など、それぞれの学校単位で計画の「ふるさと・キャリア教育」への取り組みへ対応するもの。